

・ 129p 一つの商品は、平凡な物だが、…気むずかしい物である  
使用価値として見るかぎり…(また)属性は人間労働の生産物という観点…これに少しの神秘的なところもない。

※機の例…しかし機が商品として現れると、感覚的にして超感覚的な物に転化する。

…機が踊り出す。※商品の神秘性はここから始まる

・ 130p 商品の神秘的性質は、その使用価値から出てくるものではない。また価値規定の内容から出てくるものでもない。

・ 131p 労働生産物が、商品形態をとるや否や生ずる、その謎に満ちた性質はどこから発生するのか？明らかにこの形態自身からである。

※商品形態は(人間に対して彼ら自身の)労働の社会的性格を労働生産物自身の(対象的性格として、これらの物の)社会的自然属性として反映するという、したがってまた、総労働に対する生産者の社会的関係をも、彼らの外に存する対象(モノ)の社会的関係として、反映するということである。

「このとりちがえ」によって、労働生産物は商品となり、感覚的にして超感覚的な、または社会的なものとなるのである。

・ 132p 私はこれを物神礼拝と名づける。それは労働生産物が商品として生産されるようになるにただちに、労働生産物に付着するものであって、したがって、商品生産から分離しえないものである。

商品世界のこの物神的性格は、…商品を生産する労働の独特な社会的性格から生ずる

・ 133p 労働生産物の有用物と価値物とへのこの分裂 →私的労働は二重の社会的性格を得る

・ 134p 人間がその労働生産物を相互に価値として関係させるのは、これらの事物が、彼らにとって同種的な人間労働の、単に物的な外皮であると考えられるからではない。

逆である。彼らは、その各種の生産物を、相互に交換において価値として等しいと置くことによって、その違った労働を、相互に人間労働として等しいと置くのである。

・ 137p (このようにして、)価値の大いさに導いたのは、商品価値の分析にほかならず、その価値性格の確定に導いたのは、商品が共同してなす貨幣表現にほかならなかったのである。ところが私的労働の社会的性格を、したがって私的労働者の社会的諸関係を明白にする代わりに、實際上覆い被せてしまうのも、まさに商品世界のこの完成した形態-貨幣形態-である。

※それゆえに、商品生産に基づく労働生産物を、はっきり見えないようにしている商品世界の一切の神秘、一切の魔術と妖怪は、われわれが身をさけて、別の諸生産形態に移って見ると、消えてなくなる。

※ 138p ロビンソン物語…※ロビンソンと彼自身が作り出した富との関係は、きわめて単純であり、明白で、何の神秘性もない。しかし価値の一切の本質的規定が含まれている。

※ 139-140p 中世ヨーロッパ…農奴と領主、家臣と封主、俗人と僧侶という…人身的隷属関係が明瞭だから、人々の労働における社会的関係は…彼ら自身の人的関係として現れ…労働生産物の社会的関係に扮装してはいない。

※ 141-142p 自由な人間の協力体…共同の生産手段、個人的労働力は、意識して一つの社会的労働力として支出する。総生産物は一つの社会的生産物である。一部は再び生産手段として用いられ、他の部分は生活手段として費消、分配される。労働時間は二重

の役割…欲望に対する比例、共同労働に対する個人的尺度…を演ずる。

・ 142p のような商品生産者の社会にとっては、キリスト教が…もっとも適応した宗教形態となっている。

・ 148p 一部の経済学者が誤(謬)らされた物神礼拝…重金主義の幻想(金・銀は特別の社会的属性を持った自然物の形態と見なかった)、重農主義的な幻想(地代が土地から生じて、社会から生ずるものではない)

・ 149-150p もし商品が話すことができたら… われらの使用価値が人間の関心事、使用価値はモノシテれらに属するものではない、物として与えられているのは価値である。交易・お互いに交換価値としてのみ関係している。

※注 34「経済学におけるある種の言葉争いについての考察」…??

・ 150p(立証されるべきは)物の使用価値は人間にとって交換なしで実現され、したがって物と人間との間の直接的関係において実現されるのに、逆にこれらの価値は交換においてのみ、すなわち社会的過程においてのみ実現されるという特別の事態である。

※シェイクスピアの小説に出てくるドグベリ…

◎ Wiki 物神性…商品経済において「社会的諸関係」が物として現れる転倒性をさす概念。商品の価値は人間の労働が対象化された労働生産物であるがゆえに付与されるものであるにもかかわらず、商品が本来物自身として有する自然的性質であるという幻想を生み出す。

また貨幣は多種商品のうちの一商品が一般的等価物として貨幣商品に転化し、商品価値の一般的な表示、尺度をなすものにほかならないにもかかわらず、あたかも貨幣自身が価値の独立的存在であるかのごとく受取られる。

さらに資本における物神性では、それが利潤や利子を生むことが、資本の自然的な性質によるものとされる。しかしこれらの転倒性は、物としての商品、貨幣や資本をいくら分析しても解明されず、資本主義的生産関係の科学的分析によって初めて明らかになるとされる。